

日本海洋学会教育問題研究会  
2010 年度活動報告および 2011 年度活動計画(案)

2011 年 3 月 31 日 市川洋

## 2010 年度活動報告

### 1. 会則（第 1 条目的）改訂案の作成

現 行：

日本海洋学会教育問題研究会（以下、本研究会という）を日本海洋学会（以下、本学会という）に置く。本研究会は、初等中等教育および高等教育における海洋の教育、ならびに一般国民を対象とした海洋の教育、海洋に関する知識の普及等を図るため、そのための手段を検討し実施することを目的とする。

改訂案：

日本海洋学会教育問題研究会（Ocean Literacy and Education Panel；以下、本研究会という）を日本海洋学会（以下、本学会という）に置く。本研究会は、初等中等教育および高等教育における海洋の教育の充実、ならびに一般国民を対象とした海洋の教育の推進、海洋に関する知識の普及等を図るための手段を検討し実施することを目的とする。

### 2. 第 5 回「海のサイエンスカフェ」

日 時： 3 月 28 日（日）11 時から 13 時まで

場 所： ルノアール品川港南口店 港区港南 2-3-29 シンゲンビル 1F

話題提供：中村 知裕さん（北海道大学低温科学研究所）

演 題： 地球温暖化と海—水中の巨大な波，内部波のひみつ—

進 行： 乙部弘隆、主 催： 教育問題研究会

担 当： 須賀・市川、参加者： 高校生（1 名）、社会人（5 名）、海洋学会（1 名）

教育問題研究会参加者：乙部、岸、松野、菊池、轡田、藤井、須賀、市川

### 3. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日 時：平成 22 年 7 月 5 日（月）13：00～15：00、7 月 6 日（火）13：00～15：00

場 所：横浜国立大学教育人間科学部附属理科教育実習施設・岩漁港（真鶴）

主 催：真鶴町、協 力：横浜国立大学、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（真鶴町立海の学校校長）

支援者：菊池研究室大学院学生 3 名、真鶴町立「海の学校」職員 2 名

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年（5 日：1 組、6 日：2 組）、教員 2 名

教育問題研究会参加者：乙部（両日）、菊池（5 日のみ）、市川（5 日のみ）

### 4. 第 5 回「研究船で海を学ぼう」

期 間：8 月 2 日から 8 月 8 日

募集人員：高校生 60 名、学校教諭等 20 名

共 催：日本海洋学会、東海大学、財団法人日本科学協会  
場 所：東京都江東区及び静岡県静岡市（東海大学清水校舎、三保研修館、望星丸）  
参加者：一般 14 名、高校生 66 名（応募者：一般 19 名、高校生 149 名）  
教育問題研究会参加者：岸、轡田、菊池、須賀  
注）第 1 期終了。2012 年度以降の実施は未定

#### 5. 第 6 回「海のサイエンスカフェ」

日 時：9 月 9 日（木）18 時から 20 時まで  
場 所：道の駅「流氷街道網走」2 階、フードコート「キネマ館」  
話 題：「海の巨大な渦 ―海の中にも高気圧と低気圧がある―」  
話題提供者： 上野洋路（北海道大学大学院水産科学研究院）  
進 行：須賀利雄  
主 催：教育問題研究会、協 力：海洋学会 2010 年度秋季大会実行委員会  
担 当： 須賀・市川  
参加者： 大学生・大学院学生・社会人（9 名）、研究会会員（6 名）  
教育問題研究会参加者：乙部、岸、轡田、中野、須賀、市川

#### 6. 出前授業

日 時：9 月 9 日（木）3 校時（10:35－11:20）  
場 所：網走東小学校（網走市字藻琴）  
主 催：海洋学会 2010 年度秋季大会実行委員会  
協 力：教育問題研究会 担当者：乙部弘隆 補助者：市川

#### 7. シンポジウム「海洋科学の大学院教育は企業の即戦力たりえるか？」

日時：10 月 15 日 13 時 30 分－16 時 30 分  
場所：神戸国際会議場（TechnoOcean2010 展示場から徒歩 5 分）505 会議室  
主催：日本海洋学会教育問題研究会 コンビナー：豊川・藤井  
教育問題研究会参加者：豊川、藤井、松野、道田、轡田、福島、市川  
「海の研究」に開催報告を寄稿（豊川）

#### 8. 教科書の作成（岸）

印刷中（全 13 章）。分担執筆（著者総数：14 名）。

#### 9. ウェブサイト運用（藤井）

新規掲載

第 5 回海のサイエンスカフェの開催報告 第 6 回海のサイエンスカフェの開催報告  
第 7 回海のサイエンスカフェの実施要領 研究会会則  
これまでの研究会活動状況を紹介するパンフレット（PDF）

新規サイト開設

シンポジウム「海洋科学の大学院教育は企業の即戦力たりえるか？」  
Oceanography for Tomorrow Project in Japan

追加リンク：

NPO 法人 海の自然史研究所 <http://www.marinelearning.org/>

#### 10. その他

●地学オリンピック国内実行委員会への対応

- 1) 幹事会より第6回国際地学オリンピック日本大会組織委員会委員適任者推薦の依頼を受け、市川洋会員を推薦。
- 2) 幹事会より地学オリンピック作題委員適任者推薦の依頼を受け、研究会内にWG（松野、道田、市川）を設置して、海洋学会員2名を推薦。

●NPO 法人 海の自然史研究所との連携（今宮、平井）

NPO 法人 海の自然史研究所：米国カリフォルニア大学バークレー校のローレンス科学教育研究所（Lawrence Hall of Science）において1991年から開発・運営されている「海を学ぶ体験型科学教育カリキュラム」であるMARE（Marine Activities, Resources and Education）の我が国における普及活動等を行っている団体。

●「メディアとの対応」促進活動

- 1) 立ち上げるウェブサイト内容の検討（担当：伊藤、藤井）。
- 2) 早稲田大学サイエンス・メディア・センターとの連携（難波）  
第7回「海のサイエンスカフェ」をUstream中継することについて協力を得ることになったが、会場の都合により中止。

●（仮称）海洋総合検定準備委員会（市川）

海洋総合検定事業を検討している日本海洋工学会（仮称）海洋総合検定準備委員会事務局の要請を受けて、7月29日に開催された同準備委員会にオブザーバーとして参加した。

●日本第四紀学会（轡田、岸、市川）

学校教育の地学の現状、今後の暗い見通しを打開すべく、研究系学会と教育系学会と現場教員の連携を深めるための活動を開始した日本第四紀学会の要請に応じて、集会参加、寄稿した。

- 1) シンポジウム「学校教育で地学は生き残れるか？：学会と教育現場との連携に向けて」  
日時：6月19日（土） 13～18時 主催：日本第四紀学会、  
共催：日本地学教育学会，日本理科教育学会，日本科学教育学会  
後援：日本地質学会，日本地球惑星科学連合，早稲田大学教育・総合科学学術院  
出席者：轡田 寄稿：日本第四紀学会学会誌「第四紀研究」別冊号（轡田、市川洋）
- 2) 日本第四紀学会公開シンポジウム  
「自然史の教育と研究をすすめるために―さまざまな分野からの取り組み」  
日時：8月22日（日） 10時～18時  
ポスターサロンでの発表（市川・岸）と参加体験報告の寄稿（市川）

●TechnoOcean2010

- 1) 特別セッション「海洋教育および持続可能な発展に関する教育（ESD）」  
10月16日 轡田 他  
「体験型学習をベースとした高校生向け海洋教育プログラム―研究船で海を学ぼう―」
- 2) TechnoOcean2010 並行開催行事  
シンポジウム「海洋科学の大学院教育は企業の即戦力たりえるか？」を主催（別掲）

●海洋産業研究会

内閣官房総合海洋政策本部の委託事業「海洋教育の現状に関する調査」における基本方

針の策定（3月4日）及び報告作成作業（3月29日）に助言・協力（市川）

●前年度からの継続事項

- 1) 日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会から働きかけのあった連携について（担当：福島）  
進展なし（参考：先方の委員長が庄司委員長（東京海洋大学）に交代）
- 2) 船の科学館の展示内容改装への助言・協力（窓口：菊池） 進展なし

## 2011年度活動計画

### 1. 第7回「海のサイエンスカフェ」

日 時： 3月27日（日）11時から13時まで

場 所： ルノアール品川港南口店 港区港南 2-3-29 シンゲンビル 1F

話 題： 「東北関東大震災にかかわる海洋の科学を考える」

進 行： 市川洋、主 催： 日本海洋学会教育問題研究会

参加者： 一般17名、学会員10名（内、研究会会員8名）

### 2. 大学1年生向け教科書「海はめぐる—海は自然と人との関わり—」（岸）

地人書館より6月頃に刊行予定（大震災のため、3月末刊行予定を延期）

### 3. 第8回「海のサイエンスカフェ」

日 時： 未定（秋季大会期間中または前後）

場 所： 未定（福岡または春日市内）

主 催： 日本海洋学会教育問題研究会、

担 当： 松野、他

### 4. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日 時： 未定 内 容： 未定 担当： 菊池

場 所： 横浜国立大学大学院環境情報研究院附属理科教育実習施設・岩漁港（真鶴）

主 催： 真鶴町、協 力： 横浜国立大学、日本海洋学会教育問題研究会

### 5. 2011年度春季大会企画1（大震災のため中止、今後の開催は未定）

シンポジウム「ブレイクスルー研究とその研究基盤整備：大型研究と個別海洋研究」

主催：ブレイクスルー研究会、日本海洋学会教育問題研究会

コンピーナー：渡邊豊・池田元美・伊藤進一

### 6. 2011年度春季大会企画2（大震災のため中止、今後の開催は未定）

ナイトセッション「日本の海洋学における人材育成とポストク問題について」

主催：日本海洋学会教育問題研究会、ブレイクスルー研究会

コンピーナー：伊藤進一・豊川雅哉・藤井直紀・渡邊 豊

### 7. その他

- 「メディアとの対応」促進活動

ウェブ立ち上げ（担当：伊藤、藤井）

## 会員数

2010年3月31日現在 登録会員数 39名（前年比：+8名）